

はじめに

星座当ての魅力

相手の星座を当てることは、メンタルマジックの中で1つの大きなテーマになっています。「偶然ひいたトランプの名前」とかではなく、「個人の情報」を当てることは、よりエモーショナルな驚きを与えられるので、メンタリズムでなくても普通のマジックとしても魅力的なテーマだと思います。

しかしながら、お気に入りのレパトリーにしたいくなるような、もしくは「星座当てといえばこれ！」みたいな決定版となるようなものが、いまだにないような気がします。いままで、このテーマで様々なトリックが考えられているのですが、ほとんどが、12枚の星座のカードを使ってカードマジック的手法で当てたり、相手に星座を聞いてから予言を見せたりと、どちらかというマジック味が強いものであったと言えます。

星座当ての問題点

決定版がないというのは、良い手法が考えついていないというだけでなく、星座当てには、そもそも他の問題があるせいかもしれません。

実際にやってみるとわかるのですが、その問題の1つは、相手の誕生日を知っていると現象自体が成立しないということです。とりわけ知り合いに見せることが多いアマチュアや、懇意なクライアントに見せる機会が多い演者にとっては致命的です。また近年ではSNSなどで誕生日を簡単に調べることができるので、不特定多数に見せるプロの場合でも、不可能性が低く感じられることが多くなってしまいました。

さらにもう1つの問題は、自分の星座を知らない人がいることです。(年配の方に多いような気がします) これを確認せずに手順を始めるとがっかりなことになります。



手品の解説本を読んで早速試している人
「だんだん見えてきたよ……あなたの星座の最初の文字は『お』……ですよね……」
「パパ、大丈夫?! 私の誕生日忘れちゃったの?!」

小さな思いつきから

このたび、魅力的でありながらいろいろな問題点があった星座当てに対する、1つの解決法を発表できることをうれしく思います。

その方法とは、「星座と同時に血液型も当てる対象にし、当てて欲しいほうを心の中で決めてもらい、どちらを思ったか、さらにその詳細まで当てる」というものです。

このアイデアは小さなものですが、思いつくまで相当の年月を要しました。これにより「前もって調べておいたのでしょ」という疑いだけでは解決できない不可能性を星座当てトリックに、もたらすことができました。

さらにこの思いつきを基にし、古典的な原理に新しい構造を加えて、マジシャンをも不思議がらせるシステムができました。特別な電子メカやスマホのアプリ、プレショーの必要もなく、テクニックも不要なので、カジュアルにいつでもできます。マジシャンやメンタリストだけではなく、占い師のかたも使いたくなるかもしれません。

そして、付録として「リーディング超入門」という原稿をつけておきました。メンタルマジックにコールドリーディングを取り入れてみたいと思うマジシャンへの道しるべになればと思います。マジシャン全員が取り入れるべきだとは思いませんので、あくまでも入門編です。

以前から興味があってコールドリーディングの専門書をあれこれ読んでいましたが、マジックの台本に取り入れるのは容易ではありませんでした。しかし、ゾディアックサイコメトラーの演技にちょい足しする形で学べば、わりとスムーズにリーディングという技術を勉強できそうだと思いつき、解説してみました。

付録とはいえかなり濃い内容となっていますので、メンタルマジックにすでに興味があるかたにとってはこちらが本編で、「ゾディアックサイコメトラー」が、習得のためのおまけの教材となるかもしれません。

じっくりとお楽しみください。

下村知行